

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年9月2日（金）

2 確認箇所

- (1) 1号機原子炉建屋周辺
- (2) 4号機タービン建屋東側

3 確認項目

- (1) 1号機原子炉建屋大型カバー設置工事の状況
- (2) 4号機タービン建屋東側におけるクレーン撤去作業の状況

4 確認結果の概要

(1) 1号機原子炉建屋大型カバー設置工事の状況

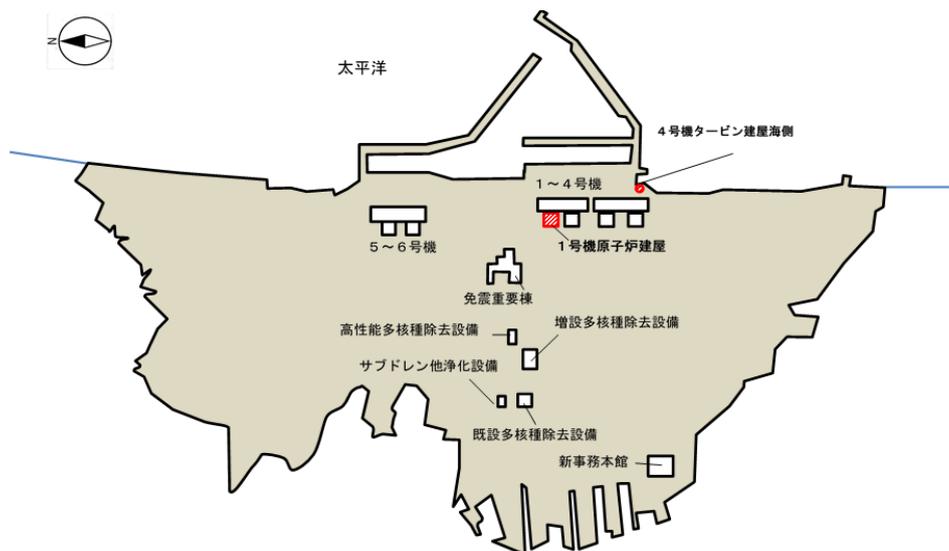
1号機原子炉建屋周辺では、大型カバーの設置工事が進められており、ベースプレート^{※1}の設置や、仮設構台を設置する作業が進められている。

今回は、1号機原子炉建屋周辺において大型カバー設置工事の状況を確認した。（図1）（前回確認日：令和4年7月4日）

- ・1号機原子炉建屋西壁にはベースプレートが複数設置されており、建屋の西側には仮設構台が設置されていた。（写真1）（写真2）
- ・アンカー削孔装置^{※2}が建屋北壁に設置されており、北壁には多数の孔が確認された。また、一部にはベースプレートが設置されていた。（写真3）
- ・建屋西側の作業ヤードには、設置される前のベースプレートが仮置きされていた。（写真4）

※1 ベースプレート：原子炉建屋外壁にアンカーボルト等により取り付けられ、大型カバーの下部架構と接続し、大型カバーを支持する部品。

※2 アンカー削孔装置：ベースプレートを壁に設置するためのアンカーボルトを壁に取り付ける孔を掘削する装置



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
1号機原子炉建屋周辺の状況



(写真1-2)
1号機原子炉建屋西壁ベースプレートの状況
※ (写真1-1) の拡大図



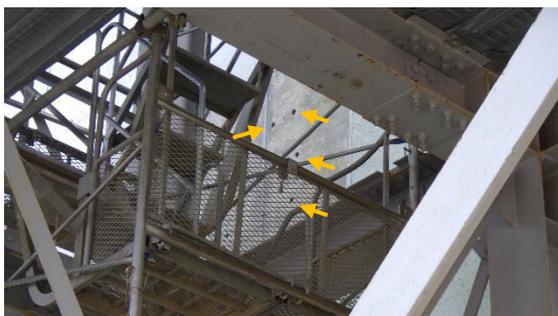
(写真 2 - 1)

1号機原子炉建屋西壁のベースプレートおよび仮設構台の状況（西壁を北側から撮影）



(写真 2 - 2)

1号機原子炉建屋北壁に設置されたベースプレートの状況



(写真 3)

建屋北側壁アンカー孔の状況
（黄色矢印）



(写真 4)

仮置きされたベースプレート

(2) 4号機タービン建屋東側におけるクレーン撤去作業の状況

4号機タービン建屋東側には、東日本大震災の際に津波により被災し動けなくなった550tクレーンが残置されており、東京電力が撤去する作業を進めていることから、状況を確認した。（前回確認：令和4年8月2日）

- ・550tクレーンは元あった場所から門形クレーンにより西側に移動されており、元の水平に置かれていない状況から、コンクリート基礎上に、H鋼に

ジャッキで補強したものを3段重ねた土台の上に、水平に置かれていた。
なお、門形クレーンには玉掛けされたままであった。(写真5)

- ・550t クレーンはH鋼を利用した防油堤内に置かれ、さらにクレーン下部には受けパンが数個置かれていた。(写真6)
- ・東京電力によれば、今後550t クレーン跡地に対してコンクリート打設し、スーパーキャリア(多軸台車)が進入できるよう工事を実施し、搬出するとのことである。



(写真5-1)
移動前のクレーンの状況(撮影日:
令和4年8月2日)



(写真5-2)
移動後のクレーンの状況
写真奥側に移動されている。(撮影
日:令和4年9月2日)



(写真5-3)
クレーン土台の状況



(写真6)
防油堤の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。